



環境リスクPress

2025年3月発行 / VOL.55

環境リスク関連ニュース

国土交通省)「民間建築物のアスベスト飛散防止対策に関する調査」結果(2023年度)(2025/2)

国土交通省が1月30日に公表した「民間建築物のアスベスト飛散防止対策に関する調査」結果(2023年度)によると、吹付けアスベストなどの飛散防止対策への対応率は96.2%となり、22年度から0.6ポイント増加した。同調査は春季建築物防災週間の一環として、2023年3月1日から7日にかけて実施したもの。1956年から1989年までに施工された民間建築物のうち1000㎡以上のものを対象に、吹付けアスベストおよびアスベスト含有吹付けロックウールへの対応を確認しているものである。

(単位:棟)

	今回調査 (注2)	前回調査 (注3)
調査対象の建築物の数 (A)	259,866	259,658
調査報告のあった建築物の数 (B)	252,045	250,448
最初の報告時点で露出してアスベスト等の吹付けがされていないと報告された建築物の数 (C)	237,109	235,505
最初の報告時点で露出してアスベスト等の吹付けがされていると報告された建築物の数 (D)	14,936	14,943
指導により対応(注1)済みの建築物の数 (E)	12,391	12,298
指導により対応(注1)予定の建築物の数 (F)	477	497
露出してアスベスト等の吹付けがされていない建築物 (注4) (G) = (C) + (E) + (F)	249,977	248,300
対応率 (H) = (G) / (A)	96.2%	95.6%

注1・・・除去、封じ込め又は囲い込みのいずれかの対策の実施
 注2・・・令和6年3月7日時点の都道府県からの報告件数
 注3・・・令和5年3月7日時点の都道府県からの報告件数
 注4・・・対策を予定している建築物を含む

環境リスク関連ニュース

静岡県)高校建替工事で土壌汚染対策法届出忘れ(2025/2)

静岡県立浜松工業高校の建て替え工事を巡り、土壌汚染対策法に係る届け出(有害物質使用特定施設)を提出していなかったことが判明し。完成はおよそ4カ月遅れる見通しとなった。静岡県では該当するという認識がなかったとしており、2024年12月に浜松市に提出した。1月浜松市では、工事範囲の土壌に汚染の恐れがないことを確認している。手続きが遅れたことで、工事の着手は2026年2月からとなり約4カ月遅れる見込みとなった。校舎の完成も約4カ月後ろ倒しとなり2027年の6月末から7月頭となる見通しとなる

愛知県)従業員に防塵マスクさせず。書類送検(2025/1)

愛知県一宮市で、アスベスト(石綿)の飛散を防ぐ措置をせずに廃棄物を放置したなどとして、愛知労働局は16日、労働安全衛生法違反の疑いで、名古屋市の産業廃棄物収集運搬業「サーライン」と代表取締役社長を書類送検した。容疑は令和5年8月以降、一宮市にある同社の施設で、石綿が飛散する恐れがある状態の廃棄物を野積みにし、従業員に防塵(ぼうじん)マスクをさせずに破砕させ、その廃棄物を取引業者へ譲り渡した。

神奈川県)小田原の国登録文化財、解体工事が中断(2025/1)

小田原市が進めている国登録有形文化財「旧内野醤油店」(同市板橋)の工場部分の解体・新築工事について、市文化財保護委員ら専門家が反対し、2024年12月から工事が中断していることが1月30日の市議会厚生文教常任委員会で明らかになった。市は予算を抑えて新たに観光拠点として活用するため解体を決めたが、事前に専門家らへの相談はしなかった。専門家は「文化振興の名目で市が所有する貴重な文化財を壊すことは許されない」と市の対応を批判している。旧内野醤油店は醤油醸造業を営んだ旧家で、店舗兼主屋は1903年に建てられた。和洋折衷の店構えが特徴で、大正期に建築の工場等八つの建物が国登録有形文化財となっている。市は土地と建物を2022年に約1億3千万円で取得し、観光拠点として整備準備を進めてきた

過去の環境リスクPressはこちらから **環境リスク.COM** <https://www.kankyorisk.com>